

## 白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和6年6月）

令和6年6月の白石踊に関わる高校生の活動について報告します。

### 1. 白石踊定期練習会参加

私達は倉敷翠松高等学校の探求の授業の一環で白石踊に取り組んでいます。

2024年8月6日に笠岡中央公民館で白石踊の定期練習会に参加させていただきました。白石踊は、源平水島合戦の戦死者を弔うために始まったと今回初めて知りました。

男性が踊るものと、女性が踊るものがあり、今回私が教えていただいた踊りは月見踊という若い女性が踊るものです。慣れない動きで緊張と戸惑いの私達にみなさんが優しく話しかけてくださり、綺麗に見せるためのコツや、手足の動き、角度を教えてくださいました。

学校の授業で練習していた時よりも吸収することが多く勉強になり、楽しさも感じられるようになりました。

一つ一つの動きにも、一つ一つの意味がある伝統ある白石踊を後世に繋げていくために、私達の世代にできることを考え取り組んでいきたいと思います。

（文章：田原ここな）



### 2. 高校生ボランティア・アワード交流会参加

令和6年6月8日に（公財）風に立つライオン基金主催の高校生ボランティア・アワードのオンライン交流会が行われました。

その交流会は複数の日時で開催されており、私たちが参加した回には4つのグループが相互に自分たちの活動内容を発表しました。他のチームの発表内容も素晴らしく、質疑応答もできました。



私は zoom での発表は初めてだったので緊張しましたが、最後まで発表しきることができました。質疑応答は何を聞かれるのか不安でしたが全て答えることができました。他県の高中生との交流やオンライン発表自体もなかなか経験できないので、多くの刺激を得られました。

これからも白石踊の継承活動をしていく中で多くの人に白石踊の楽しさを共有し、盛り上げていきたいです。

（文章：中山魁士）

### 3. 新聞投稿文

2024年5月31日の中国新聞に投稿文が掲載されました。

総合的な探究の時間で、笠岡市の白石島での海岸掃除と「白石踊」の体験に参加しました。自然環境の大切さと伝統文化の重要性を深く実感する機会となりました。

海岸掃除では、プラスチックやガラスの破片などが砂浜に散在しており、それらを一つ一つ拾い集める作業は簡単ではありませんでした。でも、地元の方々と協力しながら掃除を進めるうちに、次第に海岸がきれいになっていく様子を見て、達成感がありました。日常生活の中で環境保護に対する意識を持つ大切さを再確認しました。

次に、白石踊を教えていただいたことは、忘れられない体験となりました。地域の歴史や文化が色濃く反映された伝統的な踊りであり、その動きやリズムには深い意味が込められています。地元の踊り手の方々から丁寧に教えていただき、とても楽しかったです。

今回学んだことを日常生活に取り入れ、環境徳に努め、伝統文化の大切さを周囲にも伝えていきたいと思います。  
(文章：小林天空)

2024年6月4日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

私は白石踊プロジェクトを通して、笠岡市の白石島はとても自然豊かな場所だと思いました。白石踊プロジェクトでは、浜辺の清掃や白石踊やトレッキングをしました。どれもすごく貴重な経験でした。

浜辺の掃除では、普段は泳ぐことしかない海の周りを掃除しました。掃除をする側になると、普段は見えていなかった小さいゴミがたくさん落ちていることに気がきました。白石踊は国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産にもなっています。日本を代表するような伝統的な踊りで、そんな踊りに触れることができたことはとても良かったなと思いました。

トレッキングでは山道を上っていき、自然を満喫できました。道がちゃんと整備されていたので、山登りが初めての人でも上ることができると思います。奇石や巨石の上から見る風景は、とても迫力がすごく忘れられない思い出となりました。

私が社会人になったりした時に息抜きで、また白石島を訪れたいなと思いました。

(文章：大菊己太郎)



2024年6月24日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

笠岡市白石島の海辺でゴミ拾いをしました。海辺なので海藻が多く落ちていたり、木の棒が落ちていたりしていたので拾うのはとても大変でしたが、このようなボランティア活動に参加して、少しでもきれいにできたことがうれしかったです。

清掃活動の次に白石島に古くから伝わる盆踊り、「ブラブラ踊」を踊りました。太鼓の音と、男の人が歌うのに合わせて踊ります。手や足の動きに特徴があり、ブラブラ踊は6拍子で踊るらしくて、一つ一つの動きを丁寧に地域の方々が教えてくださり、楽しく踊れたし、ブラブラ踊をマスターすることができました。

最後に大玉岩に向かって歩きました。道のりがとても長く陰しい道で、階段一段一段がとても高くて体力的にとっても疲れしました。木の枝に虫がぶら下がったりして怖かったです。大玉岩に到着すると、途中で見た岩の5倍くらいでかくて驚きました。いい経験ができて良かったです。

(文章：船木葵生)

以上